

# 和倉小だより

学校ホームページ  
学校メールアドレス

<http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>  
wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

1月号 No.40

平成30年 2月2日  
七尾市立和倉小学校  
TEL 62-2070  
FAX 62-2082  
文責 岩崎

## 楽しかったスキー活動！

1月29日(月)4～6年生が、七尾コロサスキー場でスキー活動をしました。やまびこ荘に到着後、入所式では6年松浦夏美さんが代表の挨拶をしました。そして、所長さんからスキーくつの履き方やスキー場でのきまりなどの話を聞きました。子どもたちの聞き方が素晴らしいとお褒めの言葉もいただきました。



子どもたちの聞き方が素晴らしいとお褒めの言葉もいただきました。

6つのグループに分かれ、活動が始まりました。前日からの新雪が程良く積もり、絶好のコンディションの上貸し切り状態だったので、子どもたちは思う存分活動ができました。



私は2班11人を担当しました。まず、片足スキーで平地を歩き慣らした後、両足スキーで少しずつ斜面を直滑降しました。それから、斜面を上がり、少しずつ高い位置から滑り始め途中でスピードをコントロールする練習を何度も繰り返しました。子どもたちは、自分の滑りと友だちの滑りを参考にすぐにスピードをコントロールする感覚をつかんだので、さすがだと思いました。これならリフトに乗せても大丈夫だと思ったので、乗り場



に移動してリフトに乗り、頂上に向かいました。そこからは左右の大回り和小回りのターンをしながら滑走しました。

他のグループも、それぞれの技能に合わせた練習をしました。早めに昼食をとり、午後の活動も時間ぎりぎりまで楽しみました。



後始末をした後、退所式では6年木谷夏美さんが代表の挨拶をしました。そして、指導者にお礼の言葉を言ってスキー場を後にしました。他の学校のスクールバスを利用したので、スキー活動が2時間半ぐらいしかできませんでした。「もう少し滑りたい」という子どもの声があちらこちらから聞こえました。

お忙しいにも関わらず、講師として参加して下さいました杉原さん、濱田さん、本当にありがとうございました。



Let's call..オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること

\*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～



## 第2回 学校関係者評価委員会を開催しました

30日（火）に学校評議委員と学校評価委員の4名の方が来校されました。まず5限目に、全クラスの授業を参観していただきました。その後、学校の現状説明と児童・保護者・職員の各アンケート結果を参考に、学校の運営状況について委員の方から評価していただきました。今後の教育活動の改善に活かしていきたいと思えます。

### 《 意見交換記録（・評価委員の感想・意見・質問） 》

#### （学校）本日、学校を参観された感想はどうだったか。

・5限目の授業で、パソコン、版画、習字と、多種多様な授業がなされていた。われわれの子どもころの学校と比べて、いろいろな体験ができて、今の子どもは幸せだと感じた。ただ、その分忙しいだろうな、というのが正直な感想。

・欠席が目立つ学級もあり、インフルエンザの流行がこれから心配になった。

パソコンルームは、タブレット兼用のノート型パソコンになってよかったが、欲を言えば、図書室がさらに改善されれば・・・と思った。

・民生委員として定期的に参観させてもらっているが、子どもはいつも通りリラックスして授業を受けていたと思った。

#### （学校）学校評価についてはどうか。 （保護者と児童アンケート結果は学校便りNO、37に掲載）

・保護者アンケートの質問項目7・8・9については、保護者はなかなか答えづらいのではないかと。子どもに学校の様子を聞いて判断していると思うが、E（判断できない）が正直なところではないか。

・保護者アンケートの質問項目7「先生は子どものよいところを見つけほめてくれる」では、肯定的評価が86.8%に対し、同様の児童アンケートの質問項目9「先生はよいところを見つけほめてくれます」では91.7%だった。

・先生と直接関わっている子どもの割合のほうが高いのでよかったと思う。

（回答）「子どものよいところをほめる」ということに関して言うと、子どもは肯定的に受け止めてくれているが、反面、子どもの自己肯定感はあまり高くない（児童アンケート質問項目13）。そこで先生方には、3学期に子どもの自己肯定感を高めるような働きかけをお願いした。

・保護者アンケートや児童アンケートの結果を「学校だより」で公表しているのはいい取り組みと思う。今後も続けてほしい。

・職員アンケートの道徳教材の活用の項目で自校評価が低いのはどうしてか。

（回答）道徳の授業では、主として副読本の教材を多用しているのが現状で、「いしかわ版道徳教材」や「私たちの道徳」も使用しているが、まだ使える余地があると自己評価している職員が多かったのではないかと。

・同じく職員アンケートからだが、家庭学習の指導・支援についても、自己評価が低めの結果だが、子どもの宿題の取り組み具合はどうか。

（回答）宿題については、ほとんどの児童はしてきている。宿題をしてこない児童は学級に1～2名程度だが、それが固定化してしまっている。担任から声かけ・働きかけを粘り強く行っているがなかなか改善されないで、そのような自己評価の結果になったのではないかと。

・数年前と比べると校舎内の清掃も行き届いて清潔になったし、授業中にもかかわらず校舎内をふらふら歩きまわるといった児童もなくなった。当たり前のことと言えばそれまでかもしれないが、その当たり前のことができることが大切と思っている。それを思うと、気になるのが、保護者アンケートの結果にも表れているが、「早寝・早起き・朝ご飯」や「家庭学習（宿題）」の習慣が身につけていない児童の存在である。これは学校の指導だけではどうにもならない部分もあると思うが・・・

・テレビの情報番組などで、学校に対峙し中傷する保護者を時折見かけるが、そのような姿勢では決してよい方向に行くとは思えない。保護者・学校のいずれか一方だけが頑張るのではなく、保護者・学校そして地域が協力して子どもを育てていくことが大事だと思う。